※令和４年度以降入学生用

学校番号	3008

令和５年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　つながる暮らし　共に創る未来（教育図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。周囲の人々の考えを知り、多様な考え方を学び自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた技術を身に付けましょう。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活を目指します。

・授業の初めに前回の授業の復習問題や小中学校での既知事項等の小テストを行う事があります。また、自分の意見・感想を柔軟かつ論理的に述べられる事を求めます。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域社会の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力・技術と実践的な態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生活設計	オリエンテーション ・自己紹介 ①自分の将来を見通そう	a:各ライフステージの特徴と課題に関心を持ち、青年期の課題について考えようとしている。 b:自分の人生や進路、家庭での役割や自立などについて考え、まとめようとしている。 c:家庭生活や家族に関する資料から必要な情報を収集することができる。 ライフステージの特徴や課題、家族・家庭に関する基礎的な法律や現状・課題などを理解している。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	青年期と家族	①これからの人生に向かって ②家族・家庭とはなんだろう？ ③これからの家庭生活と社会	a:青年期はどのような時期なのかを知り、青年期に必要な自立について考えようとしている。 b:人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢化社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 c: 現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	衣生活	①衣服のはたらき ②衣服ができるまで ③衣服の計画と管理 ④これからの衣生活	a:衣服製作、衣服管理について必要な技術を身に付けている。 快適で安全な衣生活をおくるうえで必要な知識を身に付けている。 b:衣生活の中のさまざまな課題について、解決を目指して適切に判断している。 c:衣服の機能や管理、材料などに関心をもち、知識の習得に意欲的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート 被服実習

※令和４年度以降入学生用

	経済計画	①家計とお金の将来を考えよう	a:家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 b:現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 c:自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	消費生活	①何をどうやって買う？ ②かしこい消費者になろう	a:家庭経済と国民経済の関わり、消費社会等に関する基本的な知識を身に付けている。 b:消費生活における問題に気づき、その解決について適切に判断している c:自立した消費者となれるよう意欲的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
2学期	保育	①子どもの成長を見つめる ②子どもの生活と保育 ③これからの子育て環境	a:子どもを健全に育てるための基本的な技術を身に付けている。 b:子どもを生み育てることの意義、親の果たす役割について考え、まとめている。 C:子どもの発達について関心を持ち、親や家族の果たす役割について考えようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	食生活	①「食べる」ということ ②私たちが食べているもの ③安全に食べるために ④健康に食べるために ⑤おいしく食べるために ⑥ずっと食事を楽しむために	a:調理法を学んだ上で、調理技術を身に付けている。 b:食に関する情報を判断し、安全な食生活ができる。 c:健康で安全な食生活の学習に、意欲的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート 調理実習

※令和４年度以降入学生用

	高齢期	①高齢期ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる	a:高齢社会に関する資料から必要な情報を収集することができ、高齢社会の現状と課題、高齢期の心身の特徴や生活について理解している。 b:高齢社会や高齢者の生活等の課題について適切に判断している。 c:高齢社会の現状や課題、高齢者の特徴などについて考えようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	共生社会	①共生とは？ ②ノーマライゼーションとは	a:ボランティア活動の意義について理解できる。 b:自分たちの暮らす地域の福祉について調査などを行い、自分でできることは何かを導きだすことができる。支え合う社会とは何かを主体的に考え、社会福祉についての考えをまとめることができる。また、社会において自分のできることは何かを導き出すことができ、それを支え合いの活動などの実践に生かすことができる。 c: 社会の一員としての自覚を持ち、ボランティア活動や支え合う活動への興味・関心を持って、調査・参加しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
３学期	住生活	①「住まい」とは ②安全な住まい ③快適な住まい ④住まいの課題と未来の暮らし	a:住居情報を収集、分析、整理する技術と安全・快適な住生活に必要な知識を身に付けている。 b:災害に強い家作りや、対策を考え、工夫できる。 c:住生活に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	環境	①環境問題を考える ②私たちできること	a:環境問題について基本的な内容を理解している。 b:自分の消費行動が社会に与える影響について理解し、持続可能な社会のためにどういう行動したらよいかを考えて行動できる。 c:持続可能な社会を実現するための社会の取り組みについて理解し、生活の課題を見つけ、その改善方法を考え実践している。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度